

急げ住宅耐震化

質問Ⅱ国の補助減額にどう対応
答弁Ⅱ県の動向も注視し適切に



山岡 勉 議員

耐震化に向けた機運を喚起するためにも、繰り返し質問している。

耐震化を推進するには経済的な負担軽減がポイントとなるが、平成31年度以降は国の補助額が大幅に減額されるといわれている。耐震化が足踏みすることにならないか危惧する。どう対応されるか。

年度	耐震診断	耐震改修	家具固定
16	52	0	
17	16	0	
18	29	2	
19	26	0	
20	24	10	
21	23	3	
22	17	7	
23	38	11	
24	64	9	3
25	65	24	9
26	28	16	1
27	30	15	1
28	73	25	10
合計	485	122	24

住宅耐震化率
55.88%
(平成28年1月1日現在)

池田町長

平成31年度から、国の補助金額が大幅に減額される可能性がある。それまでに行えるだけ早期の耐震化が、できるような予算措置も考えていきたい。

住宅耐震化の進捗
想定どおりか

山岡議員

全体として想定どおり進んでいるか。

池田町長

町は平成29年度から、耐震設計で10万円、改修で30万円補助を増額した。

また、耐震診断を省略して耐震設計、改修ができるよう要綱を改正した。

それにより、改修の受付件数は平成28年の1.2倍となっており、平成29年度は想定どおりと考えている。

全方位型の
取り組みを

山岡議員

補助減額に備え、今こそ集中的な取り組みをすべきだ。

池田町長

広報誌への掲載、公用車へのステッカーや平成28年からは、戸別訪問事業も実施している。平成31年度からの補助減額に備え、耐震化重点取り組み中の周知など、より効率的な啓発や広報を行っていく。

固定資産税の前納報奨金

質問Ⅱ廃止すべきでないか
答弁Ⅱ検討課題と考えている

山岡議員

前納できる経済的体力のある方にとってはいいが、格差の是認といえるものだ。

歳出削減の観点からも、廃止すべきでないか。

池田町長

早期の財源確保という点では効果があっている。存廃については、検討課題であると考えている。

主要地方道高知南環状線

質問Ⅱ自歩道新設できないか
答弁Ⅱ課題が多く困難(他の対策で)

山岡議員

当該地八天大橋付近から八田堰周辺間は、自転車・歩行者が極めて危険な状況に置かれている。危険箇所解消の観点から、自歩道新設の取り組みができないか。

家屋や吾南用水も近接しているなど、現道拡幅は課題が多く困難と聞いている。

町としても県との協議を行いながら、車両に対する減速の路面標示や通行上の危険箇所を周知する看板設置など、対策について県とも協議し検討していく。

水田土木課長

自歩道新設には、現道拡幅が必要となる。当該道路は、仁淀川堤防との兼用工作物である上、